

平成 28 年度第 3 回岡山大学医療系部局病院倫理審査専門委員会議事要旨

日 時 平成 28 年 10 月 11 日 (火) 17:00～18:10
場 所 小会議室 (医学部管理棟 3 階)
出席者 岩月委員, 伊藤委員, 佐藤委員, 兒玉委員, 森田(幸)委員, 高下委員,
山下委員, 栗屋委員, 西原委員
欠席者 白神委員, 森田(学)委員, 古松委員, 野口委員, 一井委員
陪席者 人見総括主査, 國米主査, 馬場事務職員, 塩飽事務職員

議 題

病倫 1 3 n-ブチル-2-シアノアクリレート (商品名: ヒストアクリル) による気管支断端瘻閉鎖術の実施について

(申請者: 呼吸器外科 宗 淳一 講師)

委員長から, 申請者を同席させることの提案があり, 了承された。

申請者から, 術後気管支断端瘻 (BPF) を発症し, 術後, 心不全の合併などあり, 侵襲的な治療が困難であったため, BPF 閉鎖目的に, 胃食道静脈瘤に対する血管内塞栓物質として承認されているものの, BPF の塞栓物質としては承認されていない, n-ブチル-2-シアノアクリレート (商品名: ヒストアクリル) を使用して保険診療で認められた治療法でない治療を行った旨説明があった。また, 過去の治療実施については報告となるが, 今後も同じ治療を緊急で行う可能性があるということについても説明があった。

引き続き, 質疑応答等があり, 今回の申請については, 医学的見地からは問題がないことが確認された。なお, 今後同様の緊急使用の可能性が考えられるため, 事前に実施計画書等を本委員会に申請することとなった。

病倫 1 4 胃癌に対する胃壁非開放式腹腔鏡内視鏡合同手術 (Closed-LECS) について

(申請者: 低侵襲治療センター 菊地 寛次 助教)

委員長から, 申請者を同席させることの提案があり, 了承された。

申請者から, 胃癌に対する胃壁非開放式腹腔鏡内視鏡合同手術による新しい手術方法についての説明があった。

引き続き, 質疑応答等があり, 以下のとおり意見があった。

- ・ 保険収載について確認があり, LECS は保険収載されており, Closed-LECS についても同様であることが確認された。
- ・ 患者の負担額を説明文書に記載することとなった。

委員長から, 審議の結果, 同意説明文書の一部を修正し, 委員長が最終確認の上, 承認することとなった。

病倫 15 気管切開拒否への対応について

(申請者：救急科 中尾 篤紀 教授 塚原 紘平 助教 難波由美子 看護師長)

委員長から、申請者を同席させることの提案があり、了承された。

申請者から、重篤な神経学後遺症を残し、気管切開が必要な状態となり、ご家族に気管切開について説明を行ったところ、次女よりご本人が署名された延命拒否の書類を提出され、ご家族はそれをもって、気管切開の拒否を主張されていた旨説明があった。その後、現時点では気管切開の施行に同意する本人の意思を確認できたことについて説明があった。また、早期に気管切開をすることによりリハビリを受けることができ、運動機能の回復につながる可能性が高いとの説明があった。

引き続き、質疑応答等があり、以下のとおり意見があった。

- ・直近の本人の意思を最優先して治療にあたることが確認された。
- ・急変等により緊急の場合は、本人の直近の意思表示を尊重し、家族の意思にかかわらず救命のため治療を行うことができることが確認された。
- ・本人が治療の承諾書に署名できない場合の対応について、ビデオ撮影により治療同意の記録を残すべきであるとの意見があった。

以 上